

アンダーライン部分は2023年5月に追記しました。

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

解熱鎮痛薬

頭痛・歯痛・生理痛

ニューカイテキ錠F[®]〈錠剤〉

◆**ニューカイテキ錠F**は、ビタミンB₁、カンゾウ乾燥エキス配合の解熱鎮痛薬で、服用に便利な錠剤です。頭痛・歯痛・生理痛をはじめとするいろいろな痛みに対する鎮痛、発熱時の解熱などに優れた効果をあらわします。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。
 - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 服用前後は飲酒しないでください。
5. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3)授乳中の人
 - (4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)
 - (5)高齢者
 - (6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (7)次の診断を受けた人 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振	その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステevens・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

裏面もお読みください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛(のどの痛み)・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み(ねんざ痛)・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
(2)悪寒(発熱によるさむけ)・発熱時の解熱

用法・用量

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水またはぬるま湯で服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
15才以上(成人)	3錠	2回まで 服用間隔は6時間以上おくこと
11才以上15才未満	2錠	
7才以上11才未満	1錠	
7才未満	服用しないこと	

(用法・用量に関連する注意)

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
(3)錠剤の取り出し方 右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

(PTPシートの取り出し図)



成分・分量

1日量(6錠)中

成 分	分 量	はたらき
アセトアミノフェン	600mg	痛みを抑え、熱を下げます。
エテンザミド	1,000mg	痛みを抑え、熱を下げます。
無水カフェイン	200mg	鎮痛作用を助けます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	120mg	痛みの不快感をやわらげます。
ベンフォチアミン(ビタミンB ₁)	25mg	発熱時に消耗しがちなビタミンB ₁ を補います。
カンゾウ乾燥エキス	72mg (原生薬換算量:504mg)	炎症を抑え、痛みをやわらげます。

添加物:結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品(学術室)

電話 048-648-1118 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **株式会社 富士薬品**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目3番3地